



2023年もあとわずかとなりました。1年間は早いもので、今年を振り返ると、本校は1月21日(土)に記念すべき創立140周年の節目を迎え、141年目へ新たな一步を踏み出した年でもあります。特にコロナ禍を乗り越え、三川っ子たちの躍動は、学校の伝統をさらに積み上げた1年でもありました。子どもたちには冬休みに入る前に、12月までの学校生活での自分の成長を振り返りながら、新たな目標を立て、2024年に臨んでほしいと思います。来年は、昇り竜のごとく、三川っ子たちのますますの活躍にご期待ください！

地域学校協働活動～地域交流・ゲストティーチャー編～

◇3年生が三川地区社会福祉協議会とスカットボールで地域交流◇

三川小では、三川地区社会福祉協議会と連携して、3年生児童と地域住民の方々による地域交流会を開催しました。この企画は、**地域学校協働活動**の一環として、10月30日に実施した地域福祉フォーラム「安心して暮らせる地域づくり」に続く第2弾として開催したものです。



今回の交流会で使用した、スティックゲームの一種の「スカットボール」は、高齢者に人気のニュースポーツで、ボールをスティックで打って得点穴に入れるゲームです。穴に特殊なカーブがつけてあるので狙ったところに入りそうで入らないこともあり、競技者も見ている人もハラハラドキドキ！歓喜と笑いが起こるゲームが展開され、3年生は歓迎セレモニーも企画し、楽しく地域の方とスカットボールを通じて笑顔の交流ができました。今後も色々な形で各学年の子ども達が、地域に出向いて学習したり、地域の方と関わっていききたいと思います。



◇ゲストティーチャーを招いて★チョークアート体験(5年・6年)◇

(写真右下は講師作品)

チョークアートは、オイルパステルと指を使って色を混ぜたり、ぼかしたりして、グラデーションを作って描いていきます。看板のアートやメニューボードなど様々な実用性のあるボードを作ることができるのが魅力です。昨年に引き続き、匠瑛市出身のチョークアーティストの芝 真恵 さんを講師にお招きして、今回は来年の干支にちなんで「辰」のイラストを描き、子どもたちはチョークアートを楽しみながら、各自で着色を工夫し、個性的な作品に仕上げました。



◆文化庁主催 芸術家派遣事業◆ 歌舞伎を知ろう！ ～ワークショップ開催(5年・6年)～



文化庁主催「文化芸術による子ども育成推進事業」の応募に本校が採用され、芸術家派遣として歌舞伎役者の方を講師に、伝統芸能への理解を深めるワークショップを実施しました。歌舞伎ならではのセリフまわしや歩く動作、刀を用いた立ちまわりの型などを楽しみながらわかりやすく教えていただきました。これをきっかけに、もしかしたら、三川っ子の中から、将来歌舞伎役者の道を志す子が出てくるかも！?(^_^)

◇人にやさしいまちづくり★小学生認知症サポーター養成講座(6年)◇



昨年に引き続き、6年生を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。「認知症サポーター」とは、認知症を正しく理解し、認知症の方とご家族を温かく見守る応援者のことです。近所で気になることがあればさりげなく見守る、または、町内で困っている人がいたら手助けすることも立派なサポーター活動の一つです。旭市高齢者福祉課、地域包括支援センタースタッフの方々が講師となり、認知症は脳の記憶に影響が出ることや講義でわかりやすく説明いただき、続いて寸劇を交えて、認知症の人への対応と認知症を理解する

内容でした。プライベートで高齢者と接する際に役立つだけでなく、小学生段階から認知症の理解を深めることにつながる一つの機会となりました。講座最後の児童の振り返りでは、「認知症高齢者の方にやさしく接してあげたい。」という意見が数多く寄せられました。三川っ子たちが、高齢化の進むこの旭市において、認知症高齢者にとってやさしい地域づくりを担う一員になってくれることを願っています。



◇家庭教育学級／1学年で食育授業と親子給食&閉級式◇

5月の旭市合同開級式からスタートした家庭教育学級も12月12日(火)に最終回を迎え、市の栄養教諭を講師に招き、食育授業を1年生と保護者で実施し、授業後には親子で楽しく給食を食べました。1年間、家庭教育学級の活動を企画・運営いただいた3名の運営委員の皆様、そして参加してくださいました1年保護者の皆様ありがとうございました。

※給食NEWS ぜいたくメニュー！北海道ホタテを満喫!!

旭市内全小学校ではこの日、給食に北海道のホタテが出ました。北海道森町が全国の学校給食に無償提供する事業により、旭市でも提供を受け、振る舞われた「チーズかおる北海道産ほたてフライ」に子ども達は「おいしい」と味わって食べていました。

校長コラム

学校の働き方改革って何? どういうこと? にお答えします!



過日配付いたしました12月18日(金)付け旭市教育委員会の「子供たちのための学校の働き方改革について」の文書でも記載されています通り、子供たちに効果的な教育活動を行うためには、教職員でなければできない業務に集中できる環境作りが大切です。子供たちと向き合うための時間や授業の質を高めるための授業準備の時間を十分に確保できるよう、学校・教職員の役割や働き方を見直し、教職員の長時間勤務を早急に改善することが必要です。特に現在の学校は、教職員の正規勤務時間を超える在職等時間の問題と多忙化解消が喫緊の課題であり、現場では働き方改革が求められています。

そのため本校では、下記取組のように、教育課程や学校行事をコロナ禍を契機に精査し、行事のねらいや子ども達の状況を踏まえて、廃止・統合や規模の縮小、時間の短縮など、工夫して見直し検討を加えて実施しているところです。引き続きまして、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○三川小の取組をご紹介します。

- * 三川スポーツフェスティバルの平日半日開催(給食あり)
- * マラソン学年記録会や三川っ子学習発表会のコンパクト化
- * 通知表前期所見に代えて、夏休みの面談及びキャリアパスポートの有効活用
- * 吹奏楽部の活動時間の精選及び小学校音楽会への参加のあり方
- * 木曜日課を5時間にするなどし、子どもと向き合う時間の確保や授業準備等の時間を創出。など
- * tetoru配信での事務仕事の軽減とペーパーレス化
- * 夏休みのプール学習廃止・学校閉庁日の設定
- * 会議や打合せの見直しとICT活用
- * 定時退勤日設定と勤務時間の見える化

○夜間・休日、学校閉庁日の電話対応(旭市教育委員会からのお願い:市内学校共通歩調)

- ① 学校への電話による問合せや児童生徒・保護者等と教職員との個別の面談等は、17時30分までとしています。(※) 教職員の正規の勤務時間は、16時25分までですので、必ずしも17時30分まで対応できるとは限りません。ただし、緊急時や学校からの指示がある場合などはこの限りではありません。
- ② 電話が繋がらない場合には、翌日以降の勤務時間にご連絡をお願いします。
- ③ 緊急対応を要する場合は、警察・消防など専門機関へのご連絡をお願いします。

○家庭や地域と連携・協力して、外部の力を活用していきます。～地域学校協働活動～

- ・登下校時の安全確保等については、保護者や地域の皆様のご協力を引き続きお願いします。
- ・ゲストティーチャーや家庭科・校外学習等での授業ボランティアを保護者等へ募集するなど、今後も地域学校協働活動を積極的に導入していきます。



2024年が皆様にとって素晴らしい年でありますように。

